



スイッチポート ブロッキングの設定

この章では、Cisco NX-OS デバイス上でスイッチポートブロッキングを設定する方法について説明します。

この章は、次の項で構成されています。

- [スイッチポートブロッキングについて, 1 ページ](#)
- [スイッチポートブロッキングのライセンス要件, 1 ページ](#)
- [スイッチポートブロッキングの注意事項および制約事項, 2 ページ](#)
- [スイッチポートブロッキングのデフォルト設定, 2 ページ](#)
- [スイッチポートブロッキングの設定, 3 ページ](#)
- [スイッチポートブロッキング設定の確認, 4 ページ](#)
- [スイッチポートブロッキングの設定例, 4 ページ](#)

スイッチポート ブロッキングについて

MAC アドレスが期限切れになるか、スイッチによって学習されなかったために、不明のマルチキャストまたはユニキャストトラフィックがスイッチポートにフラッドिंगすることがあります。不明なマルチキャストおよびユニキャストトラフィックがスイッチポートに転送されると、セキュリティ問題が発生する可能性があります。スイッチポートブロッキングをイネーブルにすると、マルチキャストまたはユニキャストトラフィックのポートへのフラッドिंगを防止できます。

スイッチポート ブロッキングのライセンス要件

次の表に、この機能のライセンス要件を示します。

| 製品 | ライセンス要件 |
|-------------|---|
| Cisco NX-OS | スイッチポートブロッキングにはライセンスは必要ありません。ライセンスパッケージに含まれていない機能は nx-os イメージにバンドルされており、無料で提供されます。Cisco NX-OS ライセンス方式の詳細については、『Cisco NX-OS Licensing Guide』を参照してください。 |

スイッチポートブロッキングの注意事項および制約事項

スイッチポートブロッキング設定時の注意事項および制約事項は次のとおりです。

- トラフィック ストーム制御が適用されるのは入力ポートだけであるのに対して、スイッチポートブロッキングが適用されるのは出力ポートだけです。
- スwitchポートブロッキングは、すべてのスイッチドポート（PVLAN ポートを含む）でサポートされ、ポートが転送するすべての VLAN に適用されます。
- スwitchポートブロッキングは FEX ポートではサポートされません。
- ポート チャネルの不明のマルチキャストまたはユニキャスト トラフィックをブロックすると、ポート チャネル グループのすべてのポートでブロックされます。
- スwitchポートブロッキングには制御のレベルは用意されていません。指定されたポートにおける未知の出力マルチキャストまたはユニキャストパケットのフラッディングをすべて防止します。
- スwitchポートブロッキングは、Cisco Nexus 9500 シリーズ スイッチの CPU を発信元とする制御パケットをドロップします。Cisco Nexus 9300 シリーズ スイッチのパケットはドロップしません。

スイッチポートブロッキングのデフォルト設定

次の表に、スイッチポートブロッキングパラメータのデフォルト設定を示します。

表 1: スwitchポートブロッキングパラメータのデフォルト値

| パラメータ | デフォルト |
|---------------|--------|
| スイッチポートブロッキング | ディセーブル |

スイッチポートブロッキングの設定

デフォルトでは、スイッチは不明の宛先MACアドレスを持つパケットをすべてのポートにフラッディングします。このようなトラフィックの転送を防ぐために、不明のマルチキャストまたはユニキャストパケットをブロックするようにポートを設定できます。

手順の概要

1. **configure terminal**
2. **interface {ethernet slot/port | port-channel number}**
3. **[no] switchport block {multicast | unicast}**
4. (任意) **show interface [ethernet slot/port | port-channel number] switchport**
5. (任意) **copy running-config startup-config**

手順の詳細

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|--|--|
| ステップ 1 | configure terminal 例： switch# configure terminal switch(config)# | グローバルコンフィギュレーションモードを開始します。 |
| ステップ 2 | interface {ethernet slot/port port-channel number} 例： switch# interface ethernet 1/1 switch(config-if)# | インターフェイスコンフィギュレーションモードを開始します。 |
| ステップ 3 | [no] switchport block {multicast unicast} 例： switch(config-if)# switchport block unicast | 指定されたインターフェイスにおける未知のマルチキャストまたはユニキャストパケットのフラッディングを防止します。 このコマンドの no 形式を使用すると、ポートでの通常の転送が再開されます。 |
| ステップ 4 | show interface [ethernet slot/port port-channel number] switchport 例： switch(config-if)# show interface ethernet 1/1 switchport | (任意) スイッチポートブロッキングコンフィギュレーションを表示します。 |
| ステップ 5 | copy running-config startup-config 例： switch(config-if)# copy running-config startup-config | (任意) 実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。 |

スイッチポートブロッキング設定の確認

スイッチポートブロッキングの設定情報を表示するには、次の作業のいずれかを行います。

| コマンド | 目的 |
|---|---------------------------------------|
| show interface switchport | すべてのインターフェイスのスイッチポートブロッキングの設定を表示します。 |
| show interface {ethernetslot/port port-channelnumber} switchport | 指定されたインターフェイスのスイッチポートブロッキングの設定を表示します。 |
| show running-config interface [ethernetslot/port port-channelnumber] | 実行コンフィギュレーションのスイッチポートブロッキング設定を表示します。 |

スイッチポートブロッキングの設定例

次に、イーサネットインターフェイス 1/2 上でマルチキャストおよびユニキャストフラディングをブロックし、設定を確認する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 1/2
switch(config-if)# switchport block multicast
switch(config-if)# switchport block unicast
switch(config-if)# show running-config interface ethernet 1/2
!Command: show running-config interface Ethernet1/2
!Time: Wed Apr 15 16:25:48 2015

version 7.0(3)I1(2)

interface Ethernet1/2
switchport
switchport block multicast
switchport block unicast
```